

平成29年6月
さいたま市の財政



つなが電
又
さいたま市PRキャラクター

はじめに

市が提供するさまざまな行政サービスは、市民の皆様に納めていただいた税金や国・県からの支出金などによって賄われています。市では、それらがどのように使われているか、また、執行の状況はどうなっているかをお知らせするため、「さいたま市の財政」を毎年2回（6月、12月）公表しています。

今回は、平成29年度の当初予算の概要と平成28年度下半期の財政状況をお知らせします。

なお、本冊子は、平成29年3月31日現在の状況を基に調製しています。この状況に出納整理期間※の変動を加えることで、決算として確定します。決算の概要については、12月号で公表を予定しています。

※「出納整理期間」とは

3月末日までに確定した債権・債務を整理するための期間として、5月末日までの2か月間設けられているもの。

もくじ

1	平成29年度当初予算の概要	1
2	平成28年度歳入歳出予算の執行状況	
	・一般会計	3
	・特別会計	5
3	平成28年度予算の使い方と市税負担	7
4	財産、地方債及び一時借入金の現在高	8
5	公営事業の状況	9

1 平成29年度当初予算の概要

予算の特徴

- ◆「さいたま市総合振興計画」や「さいたま市成長戦略」、「さいたま市まち・ひと・しごと創生総合戦略」等の計画を着実に実施し、「CS90運動」を推進することで、より多くの市民が住みやすいと感じる都市の実現に向けた予算
- ◆東日本のヒト・モノ・情報が対流する拠点と位置付けられた本市が、東日本の各都市との連携を強化し、東日本の中核都市として成長・発展するための取組を強化する予算
- ◆子育てがしやすい環境整備やきめ細かで質の高い教育の提供、いつまでも健康で充実した生活を送れるための超高齢社会への対応、安心・安全に暮らせるまちづくりなどの施策に重点配分した予算
- ◆新設小・中学校、さいたま市子ども家庭総合センター及び新設消防署の整備、大宮駅・浦和駅周辺の市街地再開発事業など、本市の将来を見据え、「選ばれる都市」、「しあわせ実感都市」の実現に資する事業へ積極的に投資する予算

予算の総額

※平成29年2月定例会において可決された補正予算を含む4月1日現在の予算です。

一般会計

福祉、教育、医療や道路・公園の整備など市の基本的なサービスを行う会計で、主に市税で賄われています。一般会計は1つしかありません。

福祉

土木

教育

など

当初予算額 (前年度)

5,301億円※ (4,689億円)

対前年比 13.0%増

特別会計

国民健康保険や介護保険のように、特定の収入をもって特定の支出に充てるため、一般会計と区別する必要がある事業の会計。さいたま市には15の会計があります。

国民健康保険

介護保険

都市開発

など

当初予算額 (前年度)

3,373億円 (3,294億円)

対前年比 2.4%増

企業会計

民間企業と同じように、基本的には事業収益で賄われている会計。さいたま市には、水道事業、下水道事業、病院事業の3つの会計があります。

水道事業

下水道事業

病院事業

当初予算額 (前年度)

1,223億円 (1,153億円)

対前年比 6.1%増

全会計合計

当初予算額 (前年度)

9,897億円 (9,136億円)

対前年比 8.3%増

主な事業

①次代を担う人材をはぐくむ「若い世代をアシスト」

（仮称）さいたま市子ども総合センター整備事業 【予算 39億7,122万円】

子ども・家庭をとりまく課題に総合的に取り組み、子ども・家庭、地域の子育て機能を総合的に支援する、さいたま市らしさを生かした中核施設として、さいたま市子ども家庭総合センターを整備します。



②市民一人ひとりが元気に活躍する「スマートウエルネスさいたま」



さいたま国際マラソン開催事業 【予算 2億7,026万円】

フルマラソンを中心とした市民マラソンとオリンピック等の女子マラソン代表選考レースを併せた「さいたま国際マラソン」を開催し、市民のスポーツに対する意欲・関心を高めるとともに本市の都市イメージを国内外に発信します。

③新しい価値を創造し、革新（イノベーション）する「産業創出による経済活性化」

新農業ビジネス振興事業 【予算 2億7,846万円】

認定農業者等、地域の担い手である農業者により、遊休農地等、利用集積を推進するとともに、企業の参入や連携、IT農業等の導入により収益性の高い都市農業を振興します。



④自然と共生しながら、都市の機能を向上する「上質なくらしを実現できる都市」

大宮駅東口大門町2丁目中地区第一種市街地再開発事業 【予算 39億5,900万円】

市街地再開発組合に対して補助金を交付し、大宮駅東口のリーディングプロジェクトである再開発事業を推進します。



⑤みんなで安全を支える「安心減災都市」



下水道浸水対策事業 【予算 53億7,078万円】

浸水被害の軽減を目的とした雨水貯留施設及び雨水管の整備を推進します。

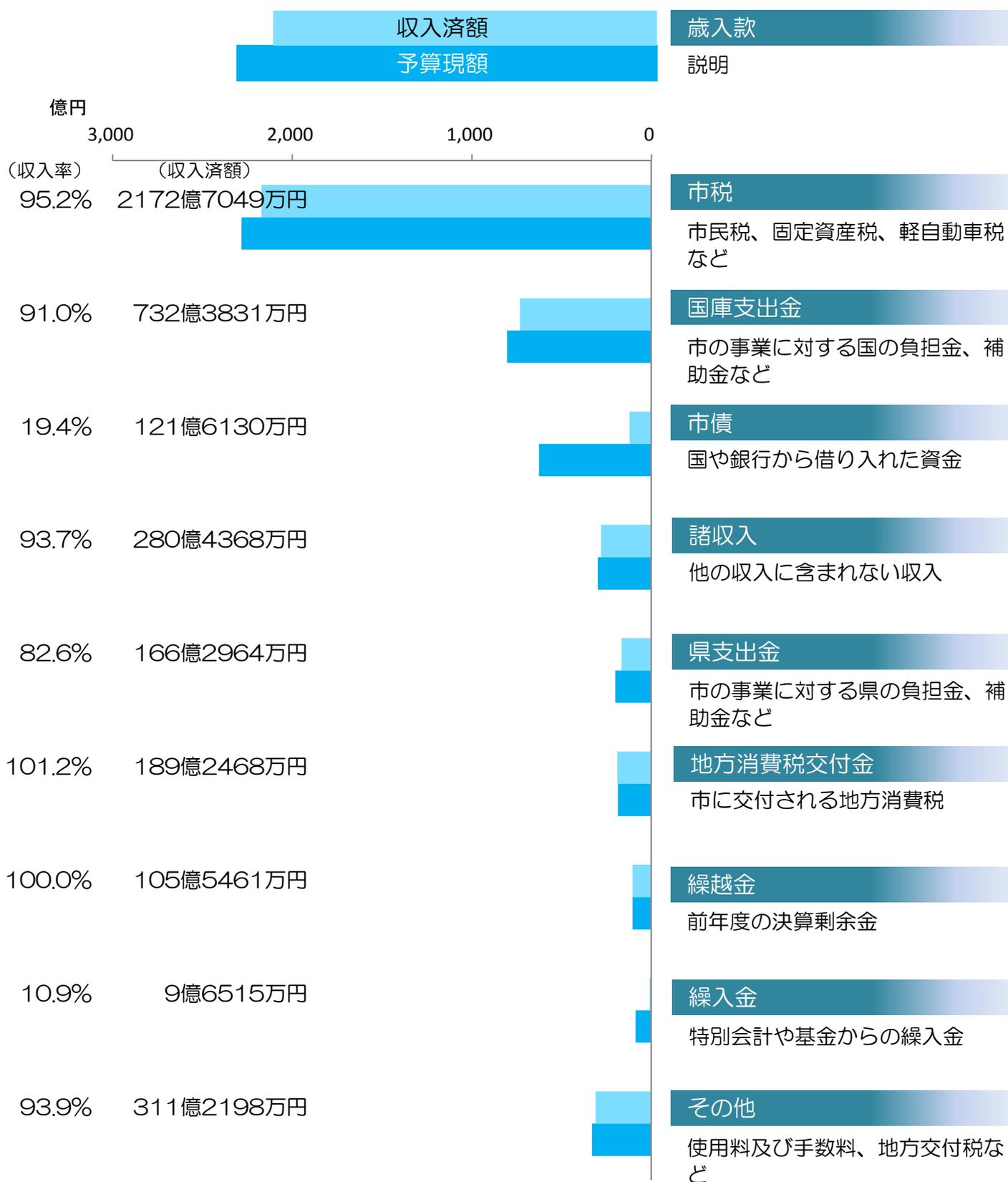
このほかにもさまざまな事業に取り組んでいきます。
また、現場の声を政策に反映するために、市政の最前線である各区役所からの提案事業にも取り組んでいます。



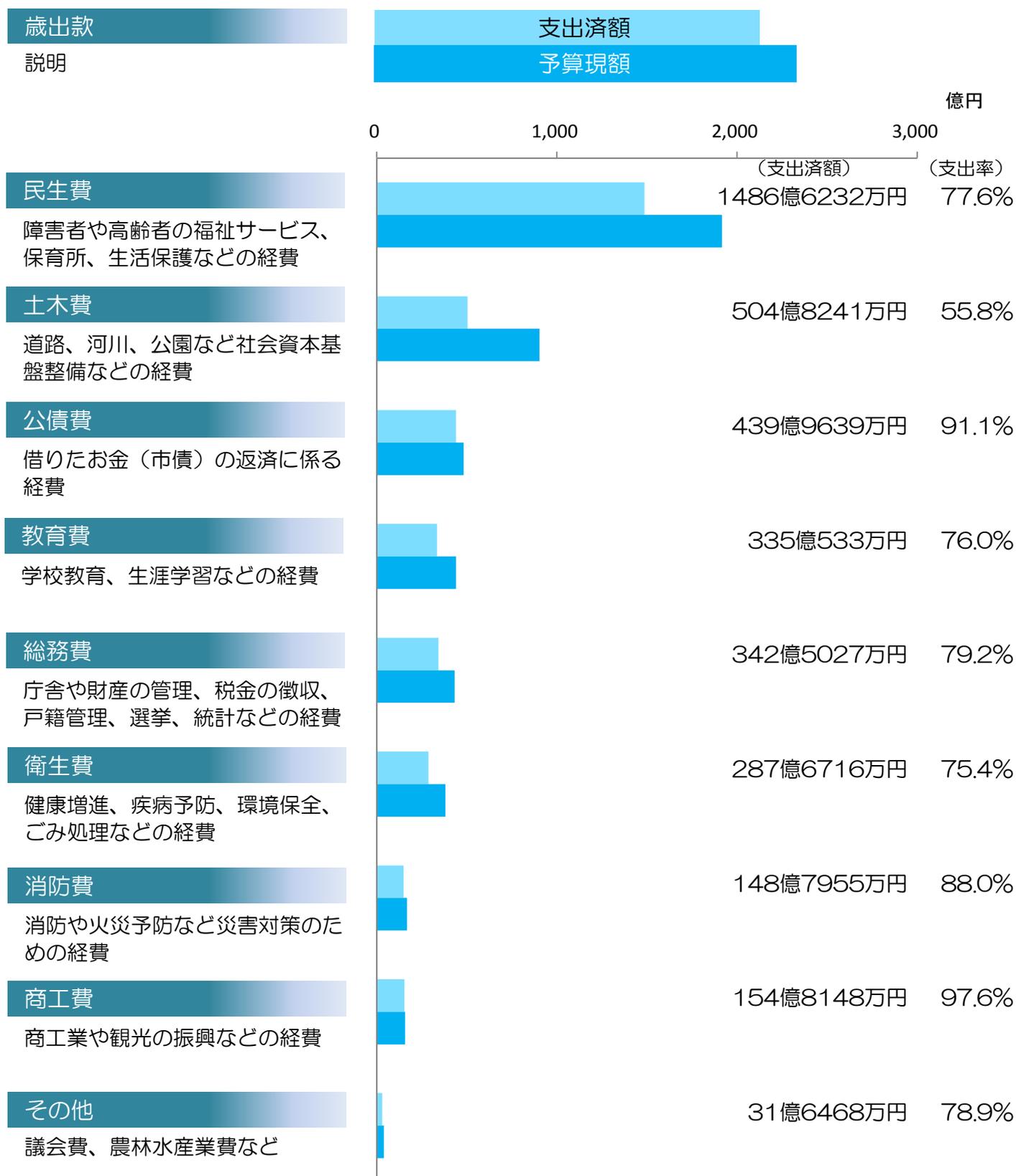
2 平成28年度歳入歳出予算の執行状況

一般会計

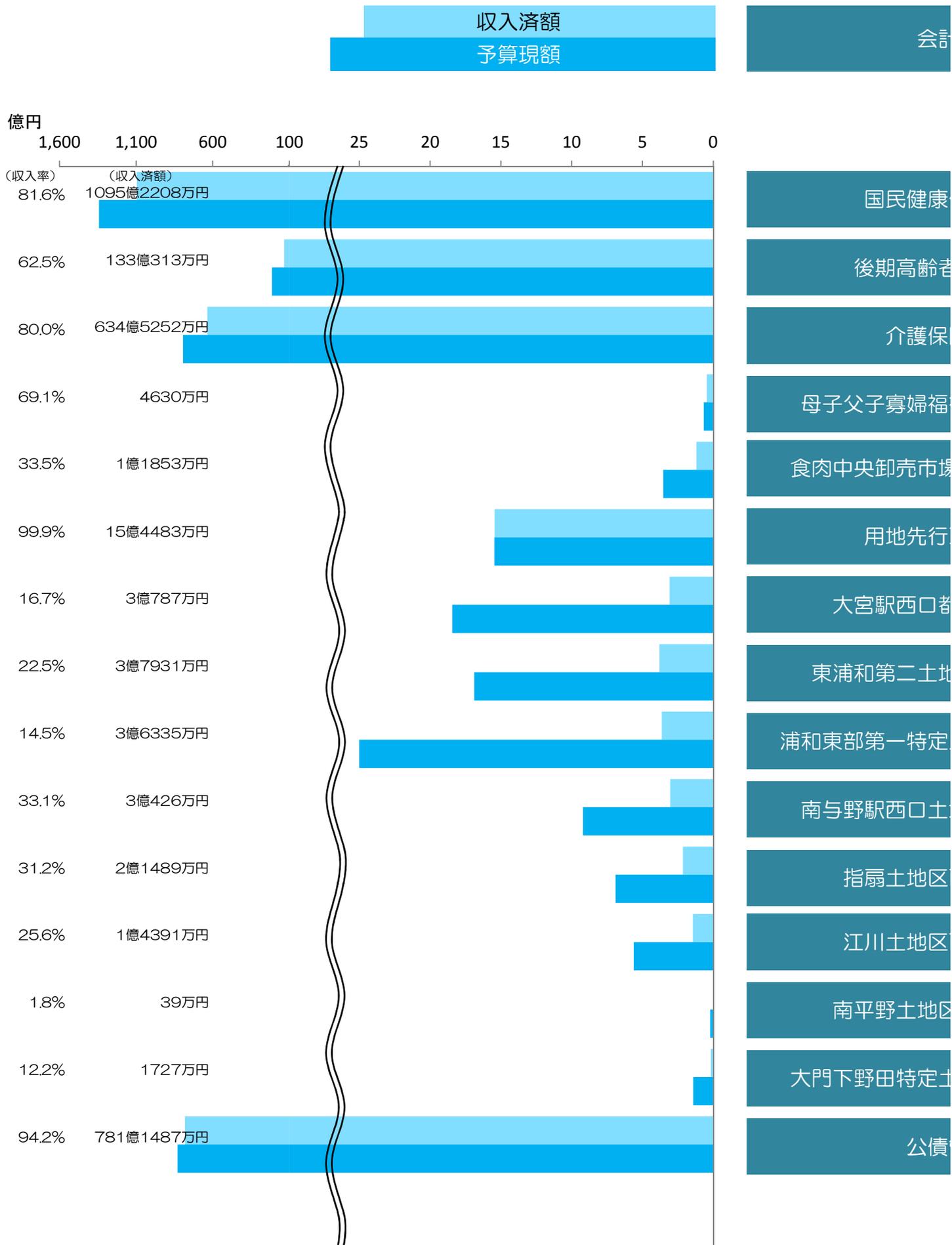
$$\text{歳入} = \frac{\text{収入済額 } 4089\text{億}984\text{万円}}{\text{予算現額 } 4927\text{億}882\text{万円}} = \text{収入率 } 83.0\%$$

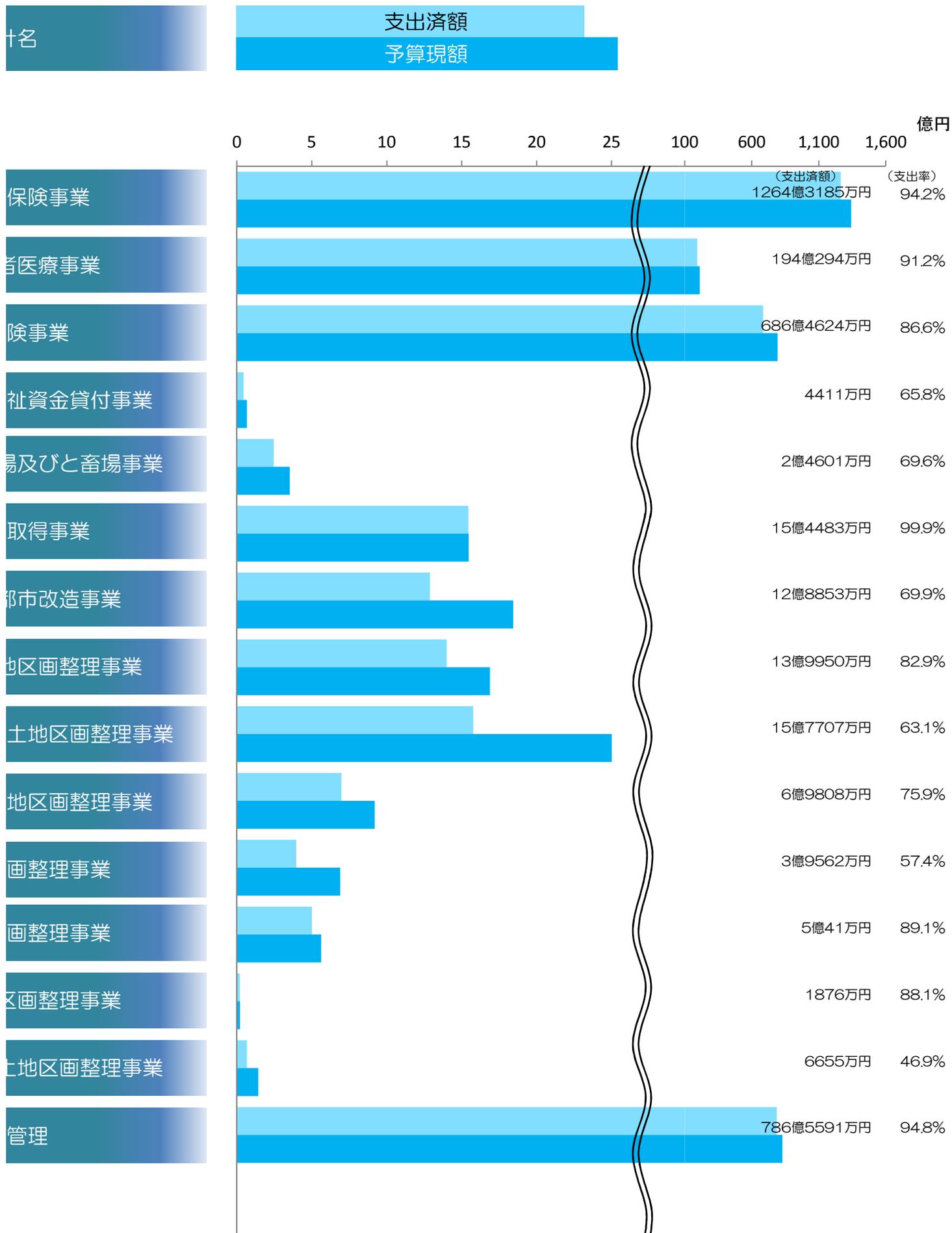


$$\text{歳出} = \frac{\text{支出済額 } 3731\text{億}8960\text{万円}}{\text{予算現額 } 4927\text{億}882\text{万円}} = \text{支出率 } 75.7\%$$



特別会計





3 平成28年度予算の使い方と市税負担

※区分ごとに四捨五入しているため、各数値の合計と総額は一致しない場合があります。

市民一人当たりの予算の使われ方

1

民生費



149,185円

歳出（一般会計）を、
市民一人当たりに換算すると、

383,450 円

※市民一人当たりの歳出の額を、目的別で金額の多い順に並べています。
※平成29年4月1日現在の人口（1,284,937人）を基に算出（以下同様）

2

土木費



70,380円

3

公債費



37,582円

4

教育費



34,330円

5

総務費



33,655円

6

衛生費



29,689円

7

消防費



13,157円

8

商工費



12,351円

その他

農林水産業費
議会費
労働費
予備費
災害復旧費

3,120円

市税負担の状況

市税を、市民一人当たりに換算すると、

177,631 円

市民税



89,515円

固定資産税



63,847円

都市計画税

13,749円

市たばこ税

6,214円

事業所税

3,399円

軽自動車税

904円

その他

3円

4 財産、地方債及び一時借入金の現在高

財産

土地	建物	基金
		
31,351,270.01㎡	2,621,748.44㎡	68,966,433千円

その他の財産

区分		3月末現在高
公有財産	立木	7,274.00 ㎡
	物権	267,972.98 ㎡
	動産	なし
	無体財産権	9 件
	有価証券	9,684,100,000 円
	出資による権利	1,636,407,715 円
	不動産の信託受益権	なし
物品	3,998 点	
債権	3,226,045,312 円	

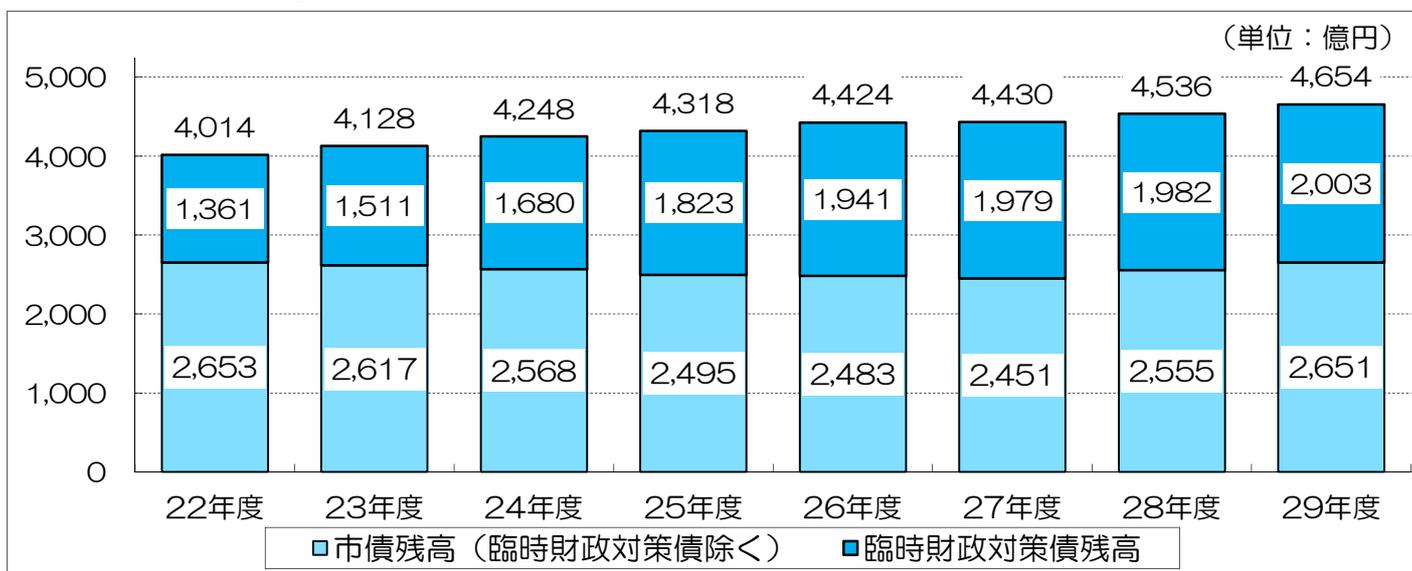
※物品については、取得価格が1点100万円以上の備品の年度末現在高のみ掲載対象としています。

地方債

(単位：千円)

会計	平成28年9月末 現在高	平成28年10月 ～平成29年3月 借入額	平成28年10月 ～平成29年3月 償還額	平成29年3月末 現在高
一般会計	422,761,900	12,161,300	24,440,496	410,482,704
特別会計	14,581,726	0	1,788,666	12,793,060
企業会計				
水道事業	54,671,482	1,300,000	2,352,625	53,618,857
病院事業	1,491,631	1,504,100	100,730	2,895,001
下水道事業	173,864,499	12,018,200	5,855,950	180,026,749
合計	667,371,238	26,983,600	34,538,467	659,816,371

(参考) 市債残高の推移



※平成27年度までは決算額、平成28・29年度は見込額

※区分ごとに四捨五入しているため、各数値の合計と総額は一致しない場合があります。

一時借入金

平成28年度上半期に引き続き、平成28年度下半期における借入れはなく、平成29年3月末現在の残高はありません（一時借入金は金融機関からの借入れを指し、基金や会計間の繰替運用によるものは含みません。）。

5 公営事業の状況

水道事業

水道事業では、昭和12年（1937年）の給水開始以来、6期の拡張事業を重ね、ほぼ100%の普及率となっていますが、普及率が著しく向上した高度経済成長期に建設した多くの施設の老朽化が進み、大規模更新や耐震化対策等の強化が不可欠となっています。また、多様化する市民ニーズに対応したサービスの向上も必要となっており、これらに係る財源の確保が課題となっています。

水道局では、このような時代や環境の変化に対応するため、平成26年12月に改訂した、さいたま市水道事業長期構想に基づき効率的、効果的な事業運営に努めていきます。

平成29年度当初予算の概要

当初予算額 45,161,438千円

(主な事業)	(単位：千円)
水道施設整備事業	10,055,146
水の安定的な供給を図るための施設整備を推進します。	

病院事業

本市が運営する唯一の公立病院であるさいたま市立病院は、地域における基幹的な公的医療機関として、地域医療の確保のため重要な役割を果たしていますが、全国的に公立病院を取り巻く経営環境や医療提供体制の維持が極めて厳しい状況となっていることから、中期経営計画に基づいた、医療機能の充実と健全経営の確立を図る必要があります。

また、施設及び設備が老朽化しており、安定した医療提供体制の維持と医療機能を強化するために、施設の整備を行い、地域がん診療連携拠点病院として質の高い医療の提供や、高度医療機器の整備、緩和医療を含めた診療体制の充実などを図っていく必要があります。

平成29年度当初予算の概要

当初予算額 22,734,245千円

(主な事業)	(単位：千円)
市立病院施設整備事業	6,126,677
市民に安心で、安定した医療の提供と、医療機能の強化を図るため、救命救急センター設置を含めた施設整備を実施します。	
市立病院高度医療機器整備事業	182,979
質の高い医療の提供及び病院機能拡充のため、手術用マイクロスコープ等の医療機器を整備します。	

下水道事業

公衆衛生の向上、生活環境の改善、さらには都市の健全な発達、公共用水域の水質保全を実現し、大雨等による自然災害に対して誰もが安心・安全に暮らせるまちづくりに資するため、主要な事業である汚水事業、浸水対策事業、下水道施設老朽化対策事業等を推進するとともに経営基盤強化に取り組みます。

平成29年度当初予算の概要

当初予算額 54,447,634千円

(主な事業)	(単位：千円)
下水道汚水事業	4,094,562
さいたま市生活排水処理基本計画で定めた合併処理浄化槽との役割分担により、事業効率が高い区域の汚水整備を推進します。	
下水道浸水対策事業	5,370,781
浸水被害の軽減を目的とした雨水貯留施設及び雨水管の整備を推進します。	
下水道施設老朽化対策事業	4,933,460
老朽化した施設について重要な幹線などの耐震化や計画的な改築を実施します。	

■ 平成28年度経理の概況 (単位：千円)

科目	金額
資産	215,996,488
(1) 固定資産	196,373,436
(2) 流動資産	19,623,052
負債	94,002,701
(1) 固定負債	52,256,510
(2) 流動負債	10,733,030
(3) 繰延収益	31,013,161
資本	115,738,266
(1) 資本金	106,639,806
(2) 剰余金	9,098,460
収益	30,509,578
うち営業収益	29,176,892
費用	24,254,057
うち営業費用	22,925,974

(単位：千円)

	収入		支出	
	執行額	執行率	執行額	執行率
収益的収支	32,812,370	100.5%	25,731,045	94.7%
資本的収支	2,135,085	52.3%	17,061,812	81.7%

■ 事業の概況 (平成28年度下半期)

項目	前年同期	当期	増減率
給水件数	581,368	589,940	101.5%
給水量 (m ³)	131,133,150	130,687,340	99.7%
一日平均給水量 (m ³)	358,287	358,048	99.9%

■ 平成28年度経理の概況 (単位：千円)

科目	金額
資産	18,280,514
(1) 固定資産	10,672,522
(2) 流動資産	7,607,992
負債	8,585,953
(1) 固定負債	5,505,963
(2) 流動負債	1,742,576
(3) 繰延収益	1,337,414
資本	9,574,135
(1) 資本金	8,385,732
(2) 剰余金	1,188,403
収益	15,891,398
うち医業収益	14,380,810
費用	15,770,972
うち医業費用	14,962,559

(単位：千円)

	収入		支出	
	執行額	執行率	執行額	執行率
収益的収支	15,908,647	97.9%	15,776,172	97.1%
資本的収支	1,823,839	81.4%	3,187,307	84.8%

■ 事業の概況 (平成28年度下半期)

項目	前年同期	当期	増減率	
病床数	567	567	100.0%	
入院患者数	一般病床	82,962	83,695	100.9%
	結核病床	1,401	945	67.5%
一日平均入院患者数	一般病床	453.3	459.8	101.4%
	結核病床	7.7	5.2	67.5%
外来患者数	119,318	114,696	96.1%	
一日平均外来患者数	994.3	955.8	96.1%	

■ 平成28年度経理の概況 (単位：千円)

科目	金額
資産	415,510,738
(1) 固定資産	405,664,295
(2) 流動資産	9,846,443
負債	283,062,102
(1) 固定負債	168,338,698
(2) 流動負債	15,699,455
(3) 繰延収益	99,023,949
資本	131,220,049
(1) 資本金	130,559,775
(2) 剰余金	660,274
収益	24,100,692
うち営業収益	21,155,120
費用	22,872,105
うち営業費用	19,375,176

(単位：千円)

	収入		支出	
	執行額	執行率	執行額	執行率
収益的収支	25,442,985	100.5%	23,515,892	98.4%
資本的収支	14,819,249	61.9%	24,943,443	67.9%

■ 事業の概況 (平成28年度下半期)

項目	前年同期	当期	増減率
汚水処理戸数	484,103	495,063	102.3%
汚水処理水量 (m ³)	135,926,683	133,453,360	98.2%
一日平均汚水処理水量 (m ³)	371,384	365,626	98.4%



この冊子は150部作成し、1部当たりの印刷経費は57円（概算）です。

平成29年6月
編集発行 / さいたま市財政局財政部財政課
TEL 048-829-1153~1155